

「発達障害の映画を観る会 2 作品映画無料上映会プロジェクト 2017-2018」

環境創生工学系専攻 修士2年（現在、今年度修了）山下涼太

発達障害を持つ人の生きづらさを少しでも解消したい！

我々は、「学習・発達論」（今野博信先生）という教職課程の授業を履修した学生を中心に、発達障害に関する理解を学内外に広げることを目指して、発達障害に関する映画の無料上映会を行う団体です。

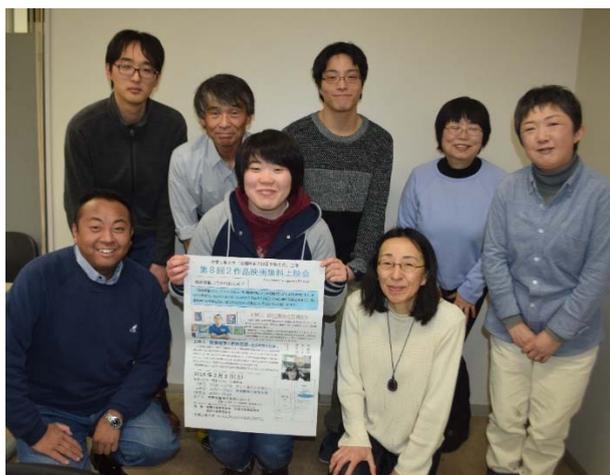
発達障害を持つ人は、身体障害などとは異なり、一見、障害があるように見えず、当人の努力不足により様々な物事に上手く取り組めないと勘違いされてしまいがちです。そのため、中には生きづらさを抱えている人が多くいるようです。近年、発達障害を取り扱ったテレビ番組や新聞記事などが増えつつあり、その認知度は上昇しつつありますが、まだまだ社会の理解が不足しています。この現状を改善し、発達障害を持つ人の生きづらさを解消していくためには、多くの人に発達障害への関心を持ってもらう必要があると考え、発達障害を扱った2作品無料上映会を実施しました。映画という媒体を選んだのは、勉強会や講演会などよりも参加しやすく、多くの方に発達障害への関心を持ってもらえると考えたからです。

上映会までと当日

昨年度は、前期の時期に各自で対象作品調べをし、10月半ばから上映候補を選び、40作品から選定を始めました。学生・社会人が入り混じった議論は、例年にも増して白熱し、最終的に上映する2作品を決めました。映画配給会社との交渉に加え、作品紹介を入れたチラシの作成と胆振広域への配布をして宣伝に力を入れました。しかし、らんらんプロジェクトの予算では支出が認められていない、郵送費や交通費が追加で発生してしまうことが分かったため、上映会準備と並行して新たにクラウドファンディングを利用した資金調達を行うことにしました。結果的に、目標金額を集めることができただけでなく、全国に本会の活動内容を伝えることができ、多くの方に共感していただきました。

そして迎えた上映会当日。自閉症と診断されたオーウェンの子供時代から青年時代までをディズニーアニメーション入りで描いた「ぼくと魔法の言葉たち」と、5人家族のうち、4人が発達障害の診断を受けている笹森さん一家の歩みを描いた「発達障害と家族支援」という2作のドキュメンタリー映画を上映しました。来場者数は過去最大の100名超となり、大成功でした。これは、新聞に記事が大きく取り上げられたこと、ラジオ番組への出演、クラウドファンディングやSNSの利用によって広く情報が行き渡ったことと、発達障害に対する関心の高まりによるものだと考えています。

上映後に実施した感想会にも、21名の参加がありました。2作品の違いから、発達障害に対する周囲の受け止め方の日米間の違いに関する議論が起こるなど、我々にとっても貴重な勉強の機会となりました。



上映会前の宣伝写真

謝辞と今後に向けて

一昨年度に続き、今回もらんらんプロジェクトに採択していただき、大学教員・職員の皆様に大変お世話になりました。

また、宣伝チラシを快く受け取って下さった施設関係者の皆様、記事を書いて下さった新聞社の皆様、番組に出演させて下さったラジオ局の皆様、後援して下さった室蘭・登別・伊達市教育委員会の皆様、クラウドファンディングの支援者の皆様、SNSやブログで本会の情報を拡散して下さった皆様をはじめ、大変多くの方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。

本会は学生だけでなく、地域の方・教員も含め、15名の多様なメンバーがそれぞれの得意分野を活かして活動中です。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。とても温かな雰囲気でお話しに溢れた会です。今後もチャレンジ精神を発揮しながら、よりよい社会づくりの一步となる活動を続けて参ります。



打ち上げ会集合写真